

大阪府ドクターヘリ運航概要

大都市圏では全国初！さらなる救急医療体制の充実へ

運航開始 平成20年1月16日（水） 平成19年度大阪府地震災害対策訓練へ出動
// 1月17日（木） 午前8時30分～ 出動要請受付開始

《目的》

救急医療用機器を装備し、医師・看護師が同乗して救急現場等に向かい、救命医療を行いながら三次救急医療機関等に患者を搬送する専用ヘリコプターの導入により、救命率の向上及び後遺症の軽減、広域搬送体制の確立、さらには災害発生時の医療救護活動の充実を図る。

《概要》

- 事業主体 大阪府 健康福祉部医務・福祉指導室医療対策課
- 基地病院 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター
 - ・ 病院屋上ヘリポートを離発着拠点とし使用し、ヘリは常時駐機
- 運航業務 運航事業者（学）ヒラタ学園（大阪府から業務委託）
- ヘリ仕様 ユーロコプター式EC135型
 - ・ 短時間で離発着可能な低騒音性・機動性に優れた小型機
 - ・ 定員7人乗りを6人で運用（ストレッチャー1台を収容）
 - ・ 患者監視用モニター等医療機器を搭載
- 運航時間 土・日・休日を含む365日 午前8時30分～日没迄（昼間有視界）
- 運航内容 『大阪府ドクターヘリ運航要領』（大阪府ドクターヘリ運航調整委員会で、要請、離着陸場所、出動、搬送、医療スタッフの緊急出動、災害時の運用、検証評価、訓練など基本的事項を取り決め）に基づき、運航。出動基準は、生命の危険が切迫、社会復帰に大きな影響のある身体に障害が生じる恐れ、緊急診断が必要などの場合を「消防庁救急ヘリコプターの出動基準ガイドライン」の症例等に準拠して判断。
 - ・ 平時の救急搬送
 - 救急現場への出動～医療機関への搬送
 - 医療機関への出動～より高度、専門的な医療機関への搬送
 - ・ 事故、災害時の医療救護活動
 - 医療スタッフの緊急出動や対策本部のもとで専用運用
- 離着陸場所 200カ所程度を確保
 - ・ 学校運動場、運動施設・青少年施設、公園、自然公園内の広場など

別表1

ドクターヘリ出動要請最終時刻表（案）

月	日没時刻 (月間最早)	出動要請最終時刻		
		大阪市・豊能・三島・ 北河内・中河内地域	泉北・南河内地域 及び柏原市	泉南地域
1月	16:57	16:20	16:00	15:50
2月	17:26	16:50	16:30	16:20
3月	17:54	17:20	17:00	16:50
4月	18:19	17:40	17:20	17:10
5月	18:43	18:10	17:50	17:40
6月	19:06	18:30	18:10	18:00
7月	19:01	18:30	18:00	17:50
8月	18:26	17:50	17:30	17:20
9月	17:44	17:10	16:50	16:40
10月	17:05	16:30	16:10	16:00
11月	16:47	16:10	16:00	15:40
12月	16:47	16:10	16:00	15:40

日没時刻のデータは国立天文台天文情報公開センター歴計算室による。

地点：北緯 34 度 49 分 08 秒、東経 135 度 31 分 42 秒（大阪大学医学部附属病院）標高 0 m

大阪市域：大阪市

豊能地域：豊中市、池田市、吹田市、箕面市、豊能町、能勢町

三島地域：高槻市、茨木市、摂津市、島本町

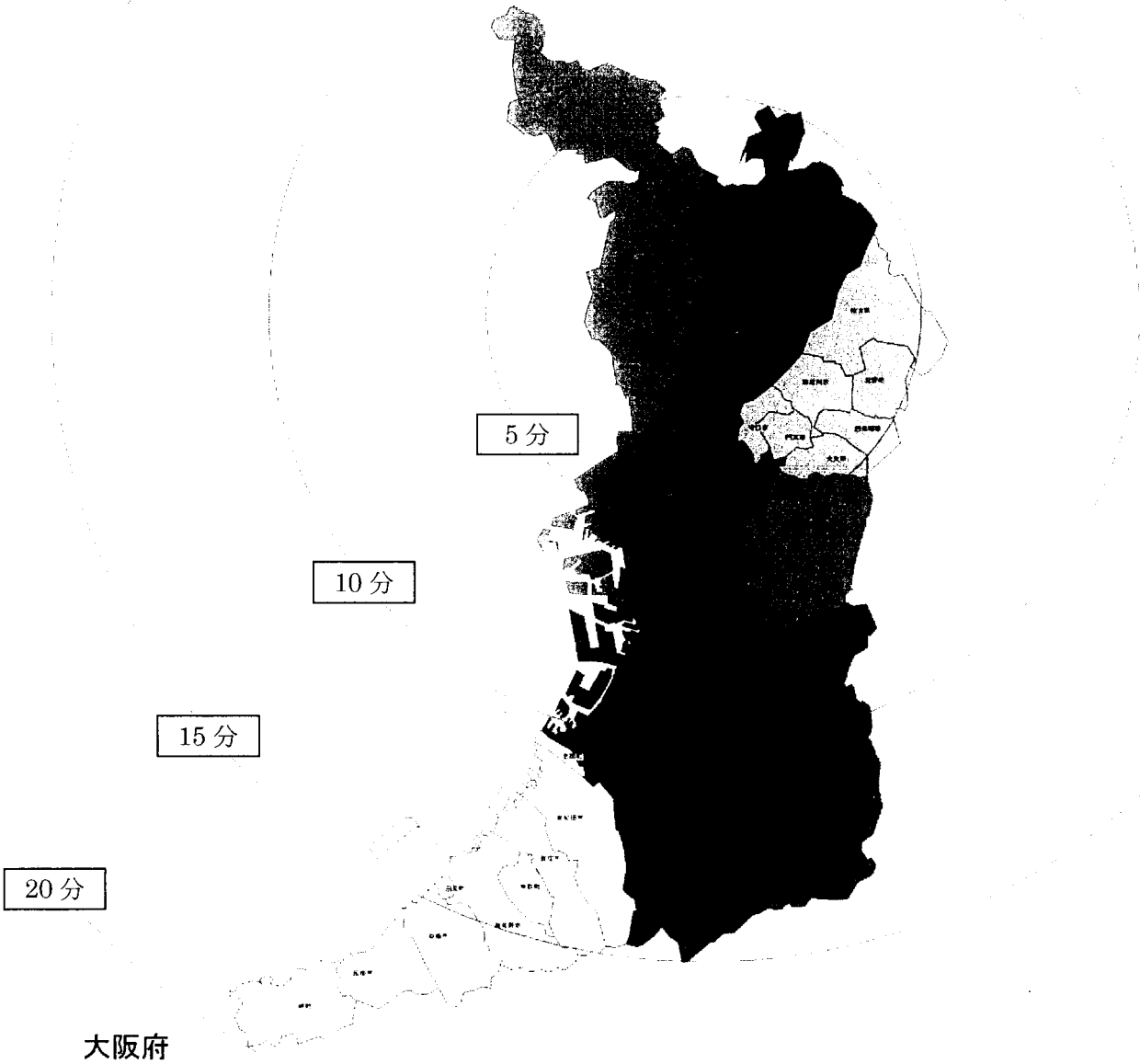
北河内地域：守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市

中河内地域（柏原市を除く）：八尾市、東大阪市

南河内地域及び柏原市：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市

泉北地域：堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町

泉南地域：岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、出尻町、岬町



大阪府

別表3

救命救急センター、災害拠点病院、協力病院等

大阪大学医学部附属病院
済生会千里病院
大阪府三島救命救急センター
大阪医科大学附属病院
関西医科大学附属滝井病院
関西医科大学附属枚方病院
大阪府立中河内救命救急センター
東大阪市立総合病院
近畿大学医学部附属病院
市立堺病院
大阪府立泉州救命救急センター
市立泉佐野病院
大阪市立総合医療センター
国立病院機構大阪医療センター
大阪赤十字病院
大阪警察病院
大阪市立大学医学部附属病院
大阪府立急性期・総合医療センター